

下水道の役割

- ◎汚水処理による公衆衛生の向上
- ◎川や海など公共用水域の水質保全
- ◎雨水排除による浸水防除
- ◎エネルギー資源を創る

鎌倉市下水道事業の課題

施設の
老朽化

地震・津波
対策

浸水対策

使用料の
適正化

未利用資源の利
活用（中水・汚
泥の活用等）

社会資本整備総合交付金

計画名：古都鎌倉の水環境を守る下水道整備計画

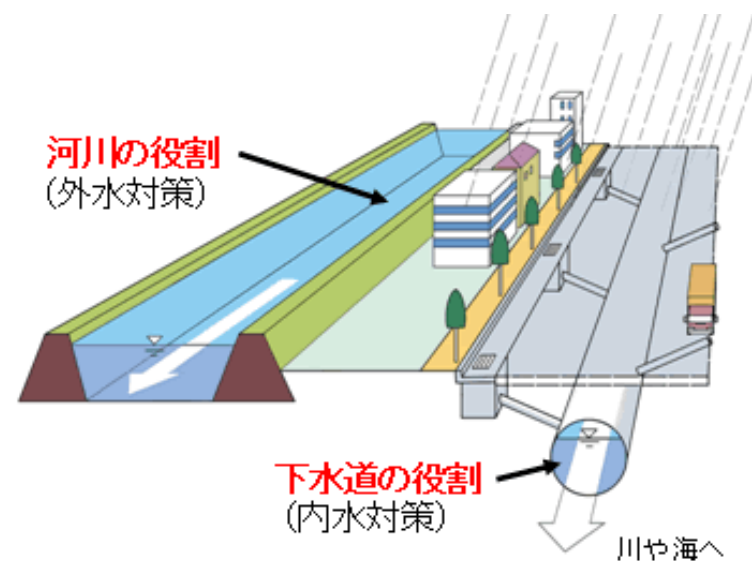
- 計画期間：平成28年度(2016年度)～令和2年度(2020年度)の5年間
- 対象事業：汚水の未普及対策や浸水対策など施設整備に関する事業
- 要素事業名：

A07-003 大船排水区雨水管渠等整備事業

都市整備部 下水道河川課

1. 事業の目的

- 古都鎌倉に相応しい、安全で快適な市民生活の実現に向け、浸水被害の解消を図るために雨水幹線の未整備箇所における雨水管渠の整備を行う。



都市に降った雨により引き起こされる浸水被害→内水被害

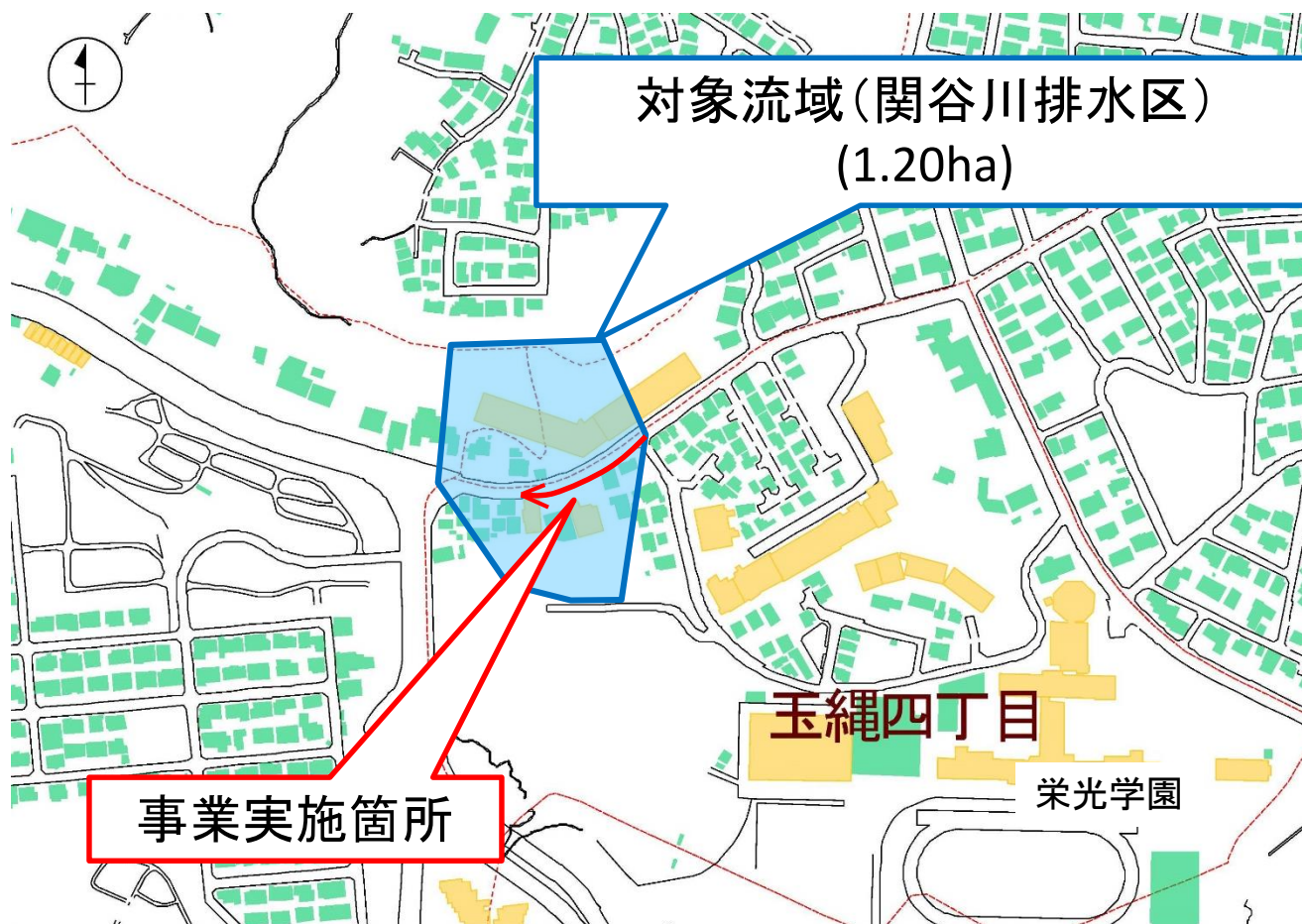
出典：国土交通省HP

2. 事業実施位置図

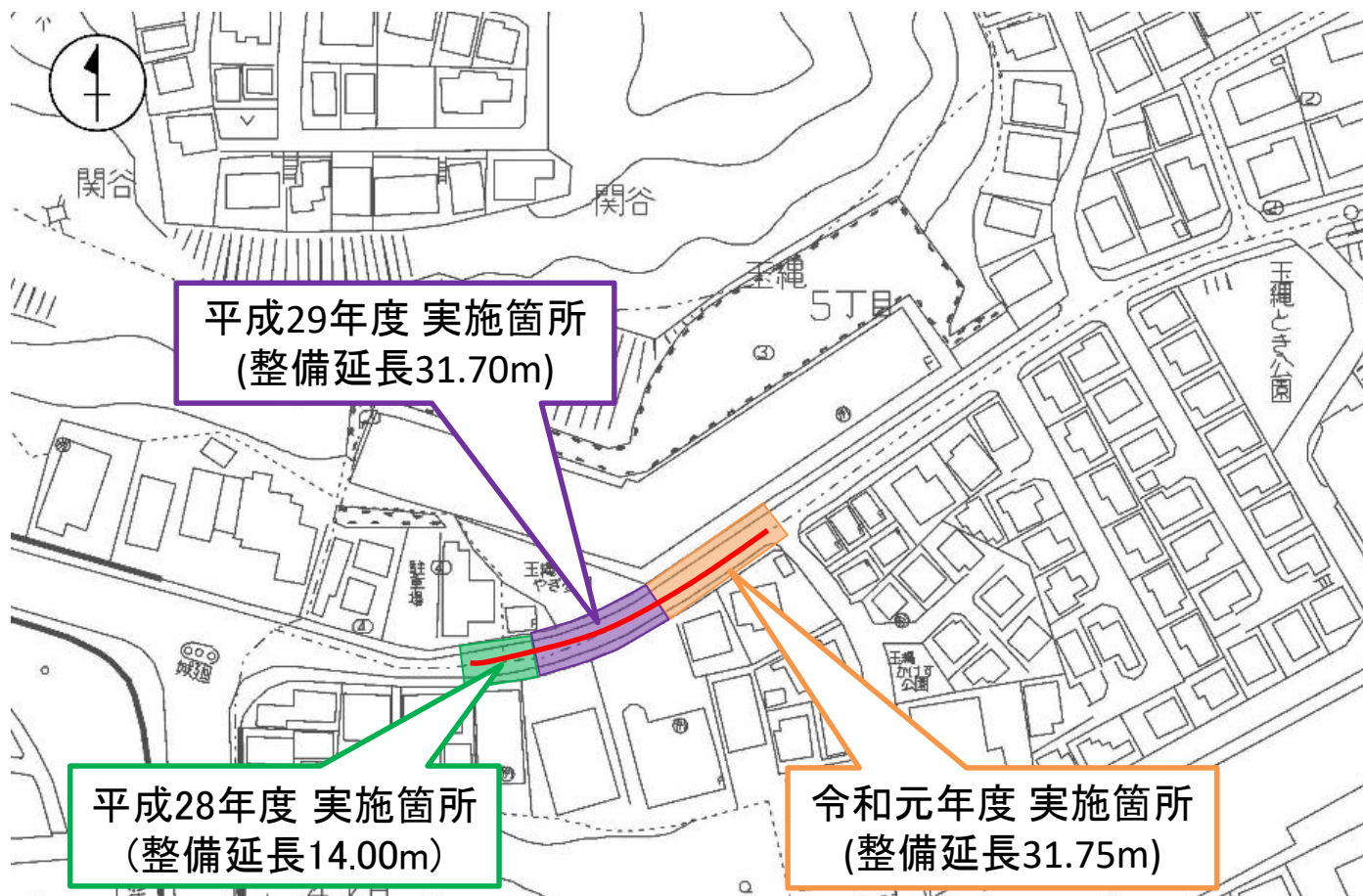
施工箇所：玉縄四丁目4番付近



3.事業実施箇所の流域図



年度毎の事業実施箇所



3. 整備経過

整備年度	整備延長	交付対象 事業費(実績)	交付対象 事業費(計画)	備考
平成28年度	14.00 m	12百万円	15百万円	平成29年度へ繰越
平成29年度	31.70 m	15百万円	15百万円	平成30年度へ繰越
令和元年度	31.75 m	26百万円	15百万円	令和2年度に繰越
合計	77.45 m	53百万円	45百万円	

4. 整備方法



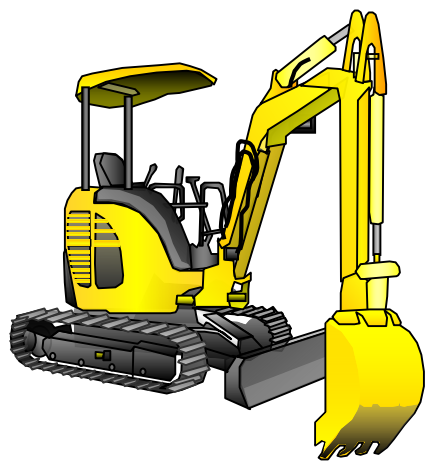
開削工法による掘削状況



Φ800mm管布設状況



マンホール据付状況



開削工法で使用するバックホウ



施工前



施工後

5. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

計画の成果目標(定量的指標)

都市浸水対策達成率を78.3%(H28)から78.4%(H32)に増加させる。

※元号については、当初の成果目標時の元号にて記載

最終目標値	78.4%
最終実績値	78.5%

- 定量的指標に関連する交付対象事業の発現状況

雨水管の整備により計画対象降雨による浸水被害の解消が図られた。

- 定量的指標の達成状況

都市浸水対策達成率が78.4%(H28)から78.5%(H32)に増加し目標を達成した。

※最終実績値は、市単独費による雨水管の整備事業等を含んだ数値。

- 今後の方針

浸水対策が図れるよう、継続して整備を実施していく。